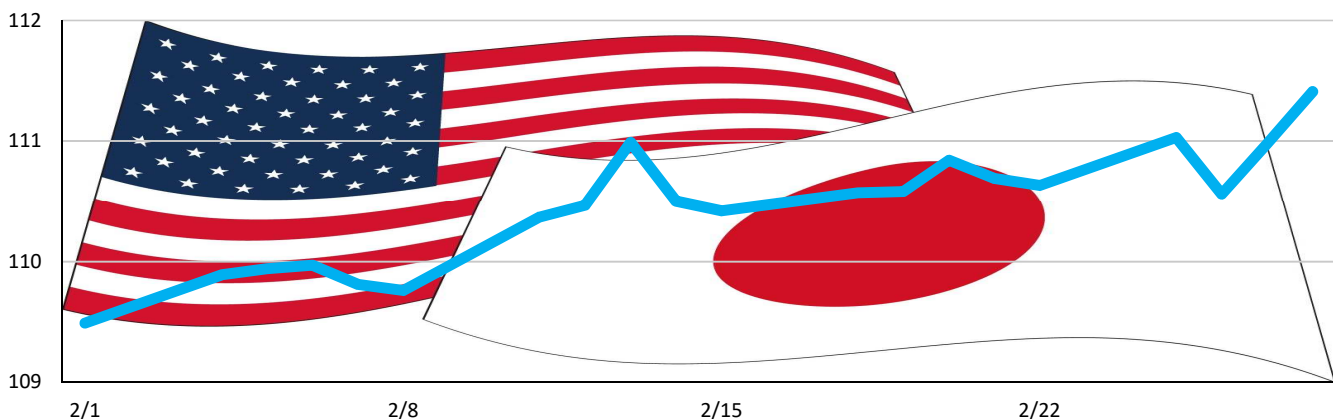


MARKET REVIEW

先月の振り返り：2月のドル円相場は109円前半～111円半ばで推移。前半は警戒されていた非常事態宣言が見送られたことで、ドル売りは一服。その後、米国つなぎ予算に関して共和党と民主党が妥結し、トランプ大統領も署名見込みと報じられ、ドル円は111円台を回復したが、くすぶり続けている米中貿易問題が解消しないことから上値は重たいまま推移。変動幅も1円未満となっており決め手に欠ける動きが続いた。月末には米朝首脳会談が開かれたものの、結局合意のないまま物別れに終わったが、市場への影響は限定的。米経済指標の数値が良好だったことを材料にドル買いが進み111円台を回復、ドル高の流れに傾いていった。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：米国の良好な経済指標を下支えにドル買いが進んでいたが、ECBが政策金利据え置きと報じられ欧州通貨売り、米国貿易赤字拡大によるドル売りとなり結果的に円高が進行。さらに中国貿易統計の悪化で世界経済減速懸念が台頭しマーケットに悪影響を及ぼしている。今後も米中貿易問題や米朝問題など一筋縄ではいかない問題が山積しており、リスク回避の円買いはしばらく続いていくのではないだろうか。短期的な動きに惑わされないようにしておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 21 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 28 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
3 / 29 (金)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
4 / 1 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
4 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 10 (水)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
4 / 16 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。